

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	京都医健専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養 専門課程	スポーツ科学科		6単位	6単位	
	スポーツマネジメントテクノロジー科		12単位	12単位	
医療専門課程	柔道整復科		10単位	9単位	
	鍼灸科		10単位	9単位	
	理学療法科 昼間部		12単位	12単位	
	理学療法科 夜間部	夜間	8単位	7単位	
	作業療法科		12単位	12単位	
	視能訓練科		9単位	9単位	
衛生専門課程	トータルビューティ科		6単位	6単位	
	美容師科		6単位	6単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページにて公表。

https://www.kyoto-iken.ac.jp/school/public_info.html

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名

(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	京都医健専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

1. 理事（役員）名簿の公表方法

本校ホームページにて公表。
https://www.kyoto-iken.ac.jp/school/public_info.html

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	株式会社 役員	R5. 4. 1 ~ R8. 3. 31	地域との連携
非常勤	株式会社 役員	R5. 4. 1 ~ R8. 3. 31	経営分析
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	京都医健専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>全ての授業科目担当者に対し、本校規定の様式でのシラバス作成を依頼している。規定の様式には授業の方法・授業計画・到達目標・成績評価の方法や基準等が明記されている。その情報は学校ホームページの情報公開欄に掲載されており、学生は自由に閲覧できる。(公表時期：4月下旬)</p> <p>また、初回授業で同様の内容を学生に説明している。</p>	
授業計画書の公表方法	学校HP： https://www.kyoto-iken.ac.jp/school/public_info.htm
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則(細則)にて成績評価の方法を下記の通り規定している。また、最終的な単位認定は学校長・教務部長・副教務部長・教務課長・学科長・学科専任教員による進級・卒業判定会議にて決定される。</p>	
<p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート、並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。</p>	
<p>2. A・B・C・Dを合格とし、Fを不合格とする。</p>	
<p>A… 100 ～ 90点 — 合格</p>	
<p>B… 89 ～ 70点 — 合格</p>	
<p>C… 79 ～ 70点 — 合格</p>	
<p>D… 69 ～ 60点 — 合格</p>	
<p>F… 59 ～ 0点 — 不合格</p>	

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)
GPA 評価については学生便覧に、その評価方法を明記し、学生に周知している。成績管理システムにてGPA評価は自動的に算出できるようになったおり、各教員は学生の成績分布状況を把握している。

GPA の成績評価基準

出席率	評価点数	評価グレード	合 否
66.7% 以上	100～90点	A (4.0)	合 格
	89～80点	B (3.0)	
	79～70点	C (2.0)	
	69～60点	D (1.0)	
	59～0点	F (0.0)	不 合格

(注) 規定の出席率を満たし、A～D評価の場合は単位認定され(合格)、F評価は単位認定されない(不合格)。

客観的な指標の算出方法の公表方法	学生便覧にて周知している。 学生便覧は学生用ポータルサイトから閲覧可能である。
------------------	--

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)
卒業規定については学生便覧に記載し、入学時に説明している。また、卒業年次には、より具体的に、学生及び保護者に、文書・口頭で説明している。
卒業認定は学生便覧に記載されている規定の単位を全て修得することで、医療国家資格系の学科については、国家試験の合格レベルに達しているかを判定する科目の習得もそれに含まれている。

学生便覧記載事項

- 第10条
1. 当該学年において、履修すべき学科目のうち、履修を認定されない学科(不合格)が1科目以上あれば、原則進級・卒業できない。
 2. 履修すべき各学科目の何れかについて、出席回数が総授業時数の3分の2に達しない者は進級・卒業できない。
 3. 進級・卒業できなかった者は留年となり、当該学年の学科目を履修し、評価を受けなければならない。
 4. 不合格科目のある者の最終的な進級・卒業に関する判定は各判定会議により行う。

卒業の認定に関する方針の公表方法	新入生オリエンテーションで学生便覧を用いて全学生に対して、説明している。卒業年次に再度、口頭・文書で説明している。学生便覧は学生用ポータルサイトから閲覧可能である。
------------------	--

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	京都医健専門学校
設置者名	学校法人滋慶コミュニケーションアート

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本校ホームページにて公表。 https://www.kyoto-iken.ac.jp/school/public_info.html
収支計算書又は損益計算書	本校ホームページにて公表。 https://www.kyoto-iken.ac.jp/school/public_info.html
財産目録	本校ホームページにて公表。 https://www.kyoto-iken.ac.jp/school/public_info.html
事業報告書	本校ホームページにて公表。 https://www.kyoto-iken.ac.jp/school/public_info.html
監事による監査報告（書）	本校ホームページにて公表。 https://www.kyoto-iken.ac.jp/school/public_info.html

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	スポーツ科学科	○	—		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
	昼間		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1700 単位時間/単位	1320 時間	2055 時間	0時間	0時間	0時間
			3375 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		158人	0人	5人	38人	43人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
<p>(概要)</p> <p>全ての授業科目担当者に対し、本校規定の様式でのシラバス作成を依頼している。規定の様式には授業の方法・授業計画・到達目標・成績評価の方法や基準等が明記されている。その情報は学校ホームページの情報公開欄に掲載されており、学生は自由に閲覧できる。また、初回授業で同様の内容を学生に説明している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要)</p> <p>学則(細則)にて成績評価の方法を、下記の通り規定している。また、最終的な単位認定は学校長・教務部長・副教務部長・学科長・学科専任教員による進級・卒業判定会議にて決定される。</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート、並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。</p> <p>2. A・B・C・Dを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>A… 100～90点 — 合格 B… 89～70点 — 合格 C… 79～70点 — 合格 D… 69～60点 — 合格 F… 59～0点 — 不合格</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要)</p> <p>卒業規定については学生便覧に記載し、入学時のオリエンテーションで説明している。また、卒業年度次には、より具体的に、学生及び保護者に、文書・口頭で説明している。</p> <p>卒業認定は学生便覧に記載されている規定の単位を全て修得することとなり、医療国家資格系の学科については、国家試験の合格レベルに達しているかを判定する科目の習得もそれに含まれている。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要)</p> <p>全ての学科で担任制をとり、ひとり一人の学生にきめ細かい支援を行っている。出席については出席管理システムより把握し、欠席が多い学生には早期に指導している。学習支援が必要な学生には補講を、精神面での支援が必要な学生には、担任だけでなく、専門のスクールカウンセラーを含めたスチューデント・サービス・センター(SSC)を開設し対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																		
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他															
91人 (100%)	11人 (12%)	80人 (88%)	0人 (0%)															
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>スポーツ業界：株式会社伊藤佑（JOYFIT）、ミズノスポーツ株式会社、MAILE株式会社、アスリート株式会社、株式会社ファクトリージャパングループ、ポシブル医科学株式会社、株式会社日本シューター、株式会社センディングベース、株式会社 LIFE CREATE、株式会社ホテルオークラ神戸等</p>																		
<p>（就職指導内容）</p> <p>就職ガイダンス、就職対策授業の実施、個別での進路相談・履歴書添削・面接対策等。学内オンライン就職説明会、学内対面就職説明会、模擬面接会、就職出陣式等の就職イベント開催。</p>																		
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>2023年度卒業生対象</p> <table border="0"> <tr> <td>アスレティックトレーナー（筆記試験）</td> <td>合格率</td> <td>21.7%</td> </tr> <tr> <td>アスレティックトレーナー（実技試験）</td> <td>合格率</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>健康運動実践指導者</td> <td>合格率</td> <td>62.7%</td> </tr> <tr> <td>NSCA-CPT（パーソナルトレーナー）</td> <td>合格率</td> <td>43.8%</td> </tr> <tr> <td>キャリアセッションインストラクター</td> <td>合格率</td> <td>100%</td> </tr> </table>				アスレティックトレーナー（筆記試験）	合格率	21.7%	アスレティックトレーナー（実技試験）	合格率	100%	健康運動実践指導者	合格率	62.7%	NSCA-CPT（パーソナルトレーナー）	合格率	43.8%	キャリアセッションインストラクター	合格率	100%
アスレティックトレーナー（筆記試験）	合格率	21.7%																
アスレティックトレーナー（実技試験）	合格率	100%																
健康運動実践指導者	合格率	62.7%																
NSCA-CPT（パーソナルトレーナー）	合格率	43.8%																
キャリアセッションインストラクター	合格率	100%																
<p>（備考）（任意記載事項）</p>																		

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
179人	10人	5.6%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>経済的問題、学業不振、意欲の低下、進路変更、心身の不調</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任制、個別補講の実施、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
文化・教養		文化・教養専門課程	スポーツマネジメントテクノロジー科	—	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3400 単位時間/単位	720 時間	3615 時間	0時間	0時間	0時間
			4335 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		17人	0人	4人	19人	23人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 全ての授業科目担当者に対し、本校規定の様式でのシラバス作成を依頼している。規定の様式には授業の方法・授業計画・到達目標・成績評価の方法や基準等が明記されている。その情報は学校ホームページの情報公開欄に掲載されており、学生は自由に閲覧できる。また、初回授業で同様の内容を学生に説明している。	
成績評価の基準・方法	
(概要) 学則(細則)にて成績評価の方法を、下記の通り規定している。また、最終的な単位認定は学校長・教務部長・副教務部長・学科長・学科専任教員による進級・卒業判定会議にて決定される。 1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート、並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。 2. A・B・C・Dを合格とし、Fを不合格とする。 A… 100～90点 — 合格 B… 89～70点 — 合格 C… 79～70点 — 合格 D… 69～60点 — 合格 F… 59～0点 — 不合格	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 卒業規定については学生便覧に記載し、入学時のオリエンテーションで説明している。また、卒業年度次には、より具体的に、学生及び保護者に、文書・口頭で説明している。 卒業認定は学生便覧に記載されている規定の単位を全て修得することとなり、医療国家資格系の学科については、国家試験の合格レベルに達しているかを判定する科目の習得もそれに含まれている。	
学修支援等	
(概要) 全ての学科で担任制をとり、ひとり一人の学生にきめ細かい支援を行っている。出席については出席管理システムより把握し、欠席が多い学生には早期に指導している。学習支援が必要な学生には補講を、精神面での支援が必要な学生には、担任だけでなく、専門のスクールカウンセラーを含めたスチューデント・サービス・センター(SSC)を開設し対応している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
（主な就職、業界等） 2022年度開講のため実績なし。			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、就職対策授業の実施、個別での進路相談・履歴書添削・面接対策等。学内就職説明会、模擬面接会、就職出陣式等の就職イベント開催。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2022年度開講のため実績なし。			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	1人	7.7%
（中途退学の主な理由） 進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制、個別補講の実施、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	柔道整復科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2795 単位時間/単位	1915 時間	220 時間	180 時間	0 時間	480 時間
	2795 単位時間						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
270人		247人	0人	9人	14人	23人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)	
(概要) 全ての授業科目担当者に対し、本校規定の様式でのシラバス作成を依頼している。規定の様式には授業の方法・授業計画・到達目標・成績評価の方法や基準等が明記されている。その情報は学校ホームページの情報公開欄に掲載されており、学生は自由に閲覧できる。また、初回授業で同様の内容を学生に説明している。	
成績評価の基準・方法	
(概要) 学則(細則)にて成績評価の方法を、下記の通り規定している。また、最終的な単位認定は学校長・教務部長・学科長・学科専任教員による進級・卒業判定会議にて決定される。	
<ol style="list-style-type: none"> 1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート、並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。 2. A・B・C・Dを合格とし、Fを不合格とする。 A… 100～90点 — 合格 B… 89～70点 — 合格 C… 79～70点 — 合格 D… 69～60点 — 合格 F… 59～0点 — 不合格 	
卒業・進級の認定基準	
(概要) 卒業規定については学生便覧に記載し、入学時のオリエンテーションで説明している。また、卒業年度次には、より具体的に、学生及び保護者に、文書・口頭で説明している。 卒業認定は学生便覧に記載されている規定の単位を全て修得することとなり、医療国家資格系の学科については、国家試験の合格レベルに達しているかを判定する科目の習得もそれに含まれている。	
学修支援等	
(概要) 全ての学科で担任制をとり、ひとり一人の学生にきめ細かい支援を行っている。出席については出席管理システムより把握し、欠席が多い学生には早期に指導している。学習支援が必要な学生には補講を、精神面での支援が必要な学生には、担任だけでなく、専門のスクールカウンセラーを含めたスチューデント・サービス・センター(SSC)を開設し対応している。	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
72人 (100%)	3人 (4.2%)	66人 (91.6%)	3人 (4.2%)
（主な就職、業界等） 鍼灸・整骨院業界：株式会社サンライズ、株式会社爽健グローバル、有限会社 japs medical support 株式会社 G-class、株式会社 TAISHI、株式会社 Riden 合同会社東洋 AMJ 等			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、就職セミナー、履歴書指導、面接指導、及び校内就職説明会			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2023年度卒業生対象 柔道整復師国家試験 合格率 80.6%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
263人	19人	7.2%
（中途退学の主な理由） 学業不振、意欲の低下、進路変更、経済的理由		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制、個別補講の実施、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	鍼灸科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2670 単位時間/単位	2040 時間	0時間	180 時間	0時間	450 時間
			2670 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
180人	184人	1人	10人	9人	19人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>全ての授業科目担当者に対し、本校規定の様式でのシラバス作成を依頼している。規定の様式には授業の方法・授業計画・到達目標・成績評価の方法や基準等が明記されている。その情報は学校ホームページの情報公開欄に掲載されており、学生は自由に閲覧できる。また、初回授業で同様の内容を学生に説明している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学則（細則）にて成績評価の方法を、下記の通り規定している。また、最終的な単位認定は学校長・教務部長・副教務部長・学科長・学科専任教員による進級・卒業判定会議にて決定される。</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート、並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。</p> <p>2. A・B・C・Dを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>A… 100～90点 — 合格 B… 89～70点 — 合格 C… 79～70点 — 合格 D… 69～60点 — 合格 F… 59～0点 — 不合格</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業規定については学生便覧に記載し、入学時のオリエンテーションで説明している。また、卒業年度次には、より具体的に、学生及び保護者に、文書・口頭で説明している。</p> <p>卒業認定は学生便覧に記載されている規定の単位を全て修得することとなり、医療国家資格系の学科については、国家試験の合格レベルに達しているかを判定する科目の習得もそれに含まれている。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>全ての学科で担任制をとり、ひとり一人の学生にきめ細かい支援を行っている。出席については出席管理システムより把握し、欠席が多い学生には早期に指導している。学習支援が必要な学生には補講を、精神面での支援が必要な学生には、担任だけでなく、専門のスクールカウンセラーを含めたスチューデント・サービス・センター（SSC）を開設し対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	1人 (2.7%)	33人 (91.7%)	2人 (5.6%)
<p>（主な就職、業界等） 鍼灸・整骨院業界：株式会社爽健グローバル、合同会社東洋AMJ、イツキグループ、株式会社 SYNERGY JAPAN、株式会社 NOMOKOTDU、株式会社 TAIISHI 等</p>			
<p>（就職指導内容） 就職ガイダンス、就職セミナー、履歴書指導、面接指導、及び校内オンライン就職説明会</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 2023年度卒業生対象 はり師国家試験 合格率 83.3% きゅう師国家試験 合格率 83.3%</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
168人	5	3.0%
<p>（中途退学の主な理由） 意欲の低下、進路変更</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制、個別補講の実施、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法科	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3490 単位時間/単位	1470 時間	1005 時間	880 時間	0時間	150 時間
	3505 単位時間						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		176人	0人	11人	30人	41人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要） 全ての授業科目担当者に対し、本校規定の様式でのシラバス作成を依頼している。規定の様式には授業の方法・授業計画・到達目標・成績評価の方法や基準等が明記されている。その情報は学校ホームページの情報公開欄に掲載されており、学生は自由に閲覧できる。また、初回授業で同様の内容を学生に説明している。</p>	
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要） 学則（細則）にて成績評価の方法を、下記の通り規定している。また、最終的な単位認定は学校長・教務部長・副教務部長・学科長・学科専任教員による進級・卒業判定会議にて決定される。</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート、並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。 2. A・B・C・Dを合格とし、Fを不合格とする。 A… 100～90点 — 合格 B… 89～70点 — 合格 C… 79～70点 — 合格 D… 69～60点 — 合格 F… 59～0点 — 不合格</p>	
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要） 卒業規定については学生便覧に記載し、入学時のオリエンテーションで説明している。また、卒業年度次には、より具体的に、学生及び保護者に、文書・口頭で説明している。 卒業認定は学生便覧に記載されている規定の単位を全て修得することとなり、医療国家資格系の学科については、国家試験の合格レベルに達しているかを判定する科目の習得もそれに含まれている。</p>	
<p>学修支援等</p> <p>（概要） 全ての学科で担任制をとり、ひとり一人の学生にきめ細かい支援を行っている。出席については出席管理システムより把握し、欠席が多い学生には早期に指導している。学習支援が必要な学生には補講を、精神面での支援が必要な学生には、担任だけでなく、専門のスクールカウンセラーを含めたチューデント・サービス・センター（SSC）を開設し対応している。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
36人 (100%)	0人 (0.0%)	31人 (86.1%)	5人 (13.9%)
<p>（主な就職、業界等） 医療・福祉業界：洛和会ヘルスケアシステム、シミズ病院グループ、京都桂病院、京都民医連中央病院、京都岡本記念病院、京都リハビリテーション病院淡海医療センター、済生会滋賀県病院、甲西リハビリ病院、生駒市立病院、総合東京病院、他。</p>			
<p>（就職指導内容） 就職ガイダンス、就職対策授業の実施、個別での進路相談・履歴書添削・面接対策等。学内就職説明会、就職出陣式、模擬面接会等の開催。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等）） 2023年度卒業生対象 理学療法士国家試験 合格率 88.9%</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
175人	5人	2.9%
<p>（中途退学の主な理由） 意欲喪失・心身の不調</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制、個別補講の実施、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	理学療法科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	夜間	3250 単位時間/単位	1425 時間	840 時間	880 時間	0時間	120 時間
			3235 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		146人	0人	11人	30人	41人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要） 全ての授業科目担当者に対し、本校規定の様式でのシラバス作成を依頼している。規定の様式には授業の方法・授業計画・到達目標・成績評価の方法や基準等が明記されている。その情報は学校ホームページの情報公開欄に掲載されており、学生は自由に閲覧できる。また、初回授業で同様の内容を学生に説明している。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要） 学則（細則）にて成績評価の方法を、下記の通り規定している。また、最終的な単位認定は学校長・教務部長・副教務部長・学科長・学科専任教員による進級・卒業判定会議にて決定される。</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート、並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。 2. A・B・C・Dを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>A… 100～90点 — 合格 B… 89～70点 — 合格 C… 79～70点 — 合格 D… 69～60点 — 合格 F… 59～0点 — 不合格</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要） 卒業規定については学生便覧に記載し、入学時のオリエンテーションで説明している。また、卒業年度次には、より具体的に、学生及び保護者に、文書・口頭で説明している。 卒業認定は学生便覧に記載されている規定の単位を全て修得することとなり、医療国家資格系の学科については、国家試験の合格レベルに達しているかを判定する科目の習得もそれに含まれている。</p>	
学修支援等	
<p>（概要） 全ての学科で担任制をとり、ひとり一人の学生にきめ細かい支援を行っている。出席については出席管理システムより把握し、欠席が多い学生には早期に指導している。学習支援が必要な学生には補講を、精神面での支援が必要な学生には、担任だけでなく、専門のスクールカウンセラーを含めたチュードント・サービス・センター（SSC）を開設し対応している。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
34人 (100%)	0人 (0.0%)	30人 (88.2%)	4人 (11.8%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>医療・福祉業界：国立病院機構、洛和会ヘルスケアシステム、京都岡本記念病院、京都大原記念病院、京都市リハビリテーション病院、がくさい病院、琵琶湖中央リハビリテーション病院、甲西リハビリ病院、神崎中央病院、福井厚生病院、東京葛飾総合病院、他。</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>就職ガイダンス、就職対策授業の実施、個別での進路相談・履歴書添削・面接対策等。学内就職説明会、就職出陣式、模擬面接会等の開催。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>2023年度卒業生対象 理学療法士国家試験 合格率 90.9%</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
160人	5人	3.1%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>経済的問題、意欲の低下、進路変更</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任制、個別補講の実施、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	作業療法科	—	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼間	3460 単位時間/単位	1125 時間	810 時間	1330 時間	0時間	240 時間
			3505 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
160人		134人	0人	7人	14人	21人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>全ての授業科目担当者に対し、本校規定の様式でのシラバス作成を依頼している。規定の様式には授業の方法・授業計画・到達目標・成績評価の方法や基準等が明記されている。その情報は学校ホームページの情報公開欄に掲載されており、学生は自由に閲覧できる。また、初回授業で同様の内容を学生に説明している。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>（概要）</p> <p>学則（細則）にて成績評価の方法を、下記の通り規定している。また、最終的な単位認定は学校長・教務部長・副教務部長・学科長・学科専任教員による進級・卒業判定会議にて決定される。</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート、並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。</p> <p>2. A・B・C・Dを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>A… 100～90点 — 合格</p> <p>B… 89～70点 — 合格</p> <p>C… 79～70点 — 合格</p> <p>D… 69～60点 — 合格</p> <p>F… 59～0点 — 不合格</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>（概要）</p> <p>卒業規定については学生便覧に記載し、入学時のオリエンテーションで説明している。また、卒業年度次には、より具体的に、学生及び保護者に、文書・口頭で説明している。</p> <p>卒業認定は学生便覧に記載されている規定の単位を全て修得することとなり、医療国家資格系の学科については、国家試験の合格レベルに達しているかを判定する科目の習得もそれに含まれている。</p>
<p>学修支援等</p> <p>（概要）</p> <p>全ての学科で担任制をとり、ひとり一人の学生にきめ細かい支援を行っている。出席については出席管理システムより把握し、欠席が多い学生には早期に指導している。学習支援が必要な学生には補講を、精神面での支援が必要な学生には、担任だけでなく、専門のスクールカウンセラーを含めたチュードレント・サービス・センター（SSC）を開設し対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
40人 (100%)	0人 (0.0%)	32人 (80.0%)	8人 (20.0%)
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>医療・福祉業界：国立病院機構、シミズ病院グループ、六地藏総合病院、京都武田病院、宇治病院、京丹後市立弥栄病院、公立甲賀病院、琵琶湖療育院病院、ヴォーリス記念病院、吹田徳洲会病院、千里リハビリテーション病院、新百合ヶ丘総合病院、他</p>			
<p>（就職指導内容）</p> <p>就職ガイダンス、就職対策授業の実施、個別での進路相談・履歴書添削・面接対策等。学内就職説明会、就職出陣式、模擬面接会等の開催。</p>			
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>2023年度卒業生対象 作業療法士国家試験 合格率 96.8%</p>			
<p>（備考）（任意記載事項）</p>			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
150人	3人	2.0%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>進路変更、心身の不調</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任制、個別補講の実施、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談</p>		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
医療	医療専門課程	視能訓練士	○	—			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼間	2 4 4 5 単位時間/単位	1260 時間	555時 間	630時 間	0時間	0時間
			2445 単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120人	84人	0人	5人	16人	21人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>全ての授業科目担当者に対し、本校規定の様式でのシラバス作成を依頼している。規定の様式には授業の方法・授業計画・到達目標・成績評価の方法や基準等が明記されている。その情報は学校ホームページの情報公開欄に掲載されており、学生は自由に閲覧できる。また、初回授業で同様の内容を学生に説明している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>学則（細則）にて成績評価の方法を、下記の通り規定している。また、最終的な単位認定は学校長・教務部長・副教務部長・学科長・学科専任教員による進級・卒業判定会議にて決定される。</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート、並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。</p> <p>2. A・B・C・Dを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>A… 100～90点 — 合格 B… 89～70点 — 合格 C… 79～70点 — 合格 D… 69～60点 — 合格 F… 59～0点 — 不合格</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <p>卒業規定については学生便覧に記載し、入学時のオリエンテーションで説明している。また、卒業年度次には、より具体的に、学生及び保護者に、文書・口頭で説明している。</p> <p>卒業認定は学生便覧に記載されている規定の単位を全て修得することとなり、医療国家資格系の学科については、国家試験の合格レベルに達しているかを判定する科目の習得もそれに含まれている。</p>
学修支援等
<p>（概要）</p> <p>全ての学科で担任制をとり、ひとり一人の学生にきめ細かい支援を行っている。出席については出席管理システムより把握し、欠席が多い学生には早期に指導している。学習支援が必要な学生には補講を、精神面での支援が必要な学生には、担任だけでなく、専門のスクールカウンセラーを含めたチュードレント・サービス・センター（SSC）を開設し対応している。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
26人 (100%)	0人 (0.0%)	24人 (92.3%)	2人 (7.7%)
（主な就職、業界等） 医療業界：能登川病院、医療法人真医会、パプテスト眼科、洛和会ヘルスケアシステム、滋賀県立病院、鶴岡眼科、京都中部総合医療センター等			
（就職指導内容） 就職ガイダンス、就職セミナー、履歴書指導、面接指導、身だしなみメイクセミナー、面接対策講座等の開催			
（主な学修成果（資格・検定等）） 2023年度卒業生対象 視能訓練士国家試験 合格率 88.0%			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
97人	4人	4.1%
（中途退学の主な理由） 進路変更、意欲低下、心身の不調		
（中退防止・中退者支援のための取組） 担任制、個別補講の実施、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	トータルビューティ科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1710 単位時間/単位	1080 時間	3180 時間	0時間	0時間	0時間
			4260 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		112人	0人	3人	37人	40人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）	
<p>（概要）</p> <p>全ての授業科目担当者に対し、本校規定の様式でのシラバス作成を依頼している。規定の様式には授業の方法・授業計画・到達目標・成績評価の方法や基準等が明記されている。その情報は学校ホームページの情報公開欄に掲載されており、学生は自由に閲覧できる。また、初回授業で同様の内容を学生に説明している。</p>	
成績評価の基準・方法	
<p>（概要）</p> <p>学則（細則）にて成績評価の方法を、下記の通り規定している。また、最終的な単位認定は学校長・教務部長・副教務部長・学科長・学科専任教員による進級・卒業判定会議にて決定される。</p> <p>1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート、並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。</p> <p>2. A・B・C・Dを合格とし、Fを不合格とする。</p> <p>A… 100～90点 — 合格</p> <p>B… 89～70点 — 合格</p> <p>C… 79～70点 — 合格</p> <p>D… 69～60点 — 合格</p> <p>F… 59～0点 — 不合格</p>	
卒業・進級の認定基準	
<p>（概要）</p> <p>卒業規定については学生便覧に記載し、入学時のオリエンテーションで説明している。また、卒業年度次には、より具体的に、学生及び保護者に、文書・口頭で説明している。</p> <p>卒業認定は学生便覧に記載されている規定の単位を全て修得することとなり、医療国家資格系の学科については、国家試験の合格レベルに達しているかを判定する科目の習得もそれに含まれている。</p>	
学修支援等	
<p>（概要）</p> <p>全ての学科で担任制をとり、ひとり一人の学生にきめ細かい支援を行っている。出席については出席管理システムより把握し、欠席が多い学生には早期に指導している。学習支援が必要な学生には補講を、精神面での支援が必要な学生には、担任だけでなく、専門のスクールカウンセラーを含めたスチューデント・サービス・センター（SSC）を開設し対応している。</p>	

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）																								
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他																					
74人 (100%)	0人 (0.0%)	64人 (86.5%)	10人 (13.5%)																					
<p>（主な就職、業界等）</p> <p>美容業界：パルファン・クリスチャン・デ・オール・ジャパン、阪急阪神百貨店、ELGC ジャパン株式会社、株式会社資生堂、TBC グループ株式会社、株式会社マニクローゼット、ハルカホールディングス、株式会社ケンジ、ニューヨークニューヨーク、フォルテ、株式会社ヘアメイクウィルオフィス他</p>																								
<p>（就職指導内容）</p> <p>就職ガイダンス、就職セミナー、履歴書指導、面接指導。校内就職説明会、模擬面接会、就職出陣式等の就職イベント実施。その他、学外就職説明会引率等。</p>																								
<p>（主な学修成果（資格・検定等））</p> <p>2023 年度卒業生対象</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>サービス接客検定 準1級</td> <td>合格率</td> <td>77.8%</td> </tr> <tr> <td>美肌検定</td> <td>合格率</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>エステセンター試験</td> <td>合格率</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>上級認定エステティシャン試験</td> <td>合格率</td> <td>87.5%</td> </tr> <tr> <td>日本メイクアップ技能検定 3級</td> <td>合格率</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>日本メイクアップ技能検定 1級</td> <td>合格率</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>ジェルネイル検定 初級</td> <td>合格率</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table>				サービス接客検定 準1級	合格率	77.8%	美肌検定	合格率	100%	エステセンター試験	合格率	100%	上級認定エステティシャン試験	合格率	87.5%	日本メイクアップ技能検定 3級	合格率	100%	日本メイクアップ技能検定 1級	合格率	100%	ジェルネイル検定 初級	合格率	100%
サービス接客検定 準1級	合格率	77.8%																						
美肌検定	合格率	100%																						
エステセンター試験	合格率	100%																						
上級認定エステティシャン試験	合格率	87.5%																						
日本メイクアップ技能検定 3級	合格率	100%																						
日本メイクアップ技能検定 1級	合格率	100%																						
ジェルネイル検定 初級	合格率	100%																						
<p>（備考）（任意記載事項）</p>																								

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
201人	10人	5.0%
<p>（中途退学の主な理由）</p> <p>経済的問題、意欲の低下、進路変更、心身の不調</p>		
<p>（中退防止・中退者支援のための取組）</p> <p>担任制、個別補講の実施、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談</p>		

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容師科	○	—		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	2010 単位時間/単位	270 時間	840 時間	0時間	0時間	900 時間
			2010 単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		45人	0人	5人	37人	40人	

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 全ての授業科目担当者に対し、本校規定の様式でのシラバス作成を依頼している。規定の様式には授業の方法・授業計画・到達目標・成績評価の方法や基準等が明記されている。その情報は学校ホームページの情報公開欄に掲載されており、学生は自由に閲覧できる。また、初回授業で同様の内容を学生に説明している。
成績評価の基準・方法
(概要) 学則(細則)にて成績評価の方法を、下記の通り規定している。また、最終的な単位認定は学校長・教務部長・副教務部長・学科長・学科専任教員による進級・卒業判定会議にて決定される。 1. 各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート、並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める5段階評価とする。 2. A・B・C・Dを合格とし、Fを不合格とする。 A… 100～90点 — 合格 B… 89～70点 — 合格 C… 79～70点 — 合格 D… 69～60点 — 合格 F… 59～0点 — 不合格
卒業・進級の認定基準
(概要) 卒業規定については学生便覧に記載し、入学時のオリエンテーションで説明している。また、卒業年度次には、より具体的に、学生及び保護者に、文書・口頭で説明している。 卒業認定は学生便覧に記載されている規定の単位を全て修得することとなり、医療国家資格系の学科については、国家試験の合格レベルに達しているかを判定する科目の習得もそれに含まれている。
学修支援等
(概要) 全ての学科で担任制をとり、ひとり一人の学生にきめ細かい支援を行っている。出席については出席管理システムより把握し、欠席が多い学生には早期に指導している。学習支援が必要な学生には補講を、精神面での支援が必要な学生には、担任だけでなく、専門のスクールカウンセラーを含めたスチューデント・サービス・センター(SSC)を開設し対応している。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0人 (0%)	0人 (0.0%)	0人 (0%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) (就職指導内容) 就職ガイダンス、就職セミナー、履歴書指導、面接指導。校内就職説明会、就職出陣式等の就職イベント実施。その他、学外就職説明会引率等。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 2024年度名称変更のため実績なし			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
0人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 担任制、個別補講の実施、保護者との連携、スクールカウンセラーによる面談		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考（任意記載事項）
柔道整復科	250,000円	1,050,000円	360,000円	施設維持費・総合演習費・キャリア教育振興費の費用をその他欄に計上
鍼灸科	250,000円	1,050,000円	360,000円	
スポーツ科学科 1年次	100,000円	800,000円	420,000円	
スポーツ科学科 2年次		900,000円	420,000円	
スポーツマネジメント科 1年次	100,000円	980,000円	420,000円	
スポーツマネジメント科 2年次		1,080,000円	420,000円	

2年次以降			
理学療法科 昼間部	300,000円	1,300,000円	390,000円
理学療法科 夜間部	300,000円	1,100,000円	390,000円
作業療法科	300,000円	1,100,000円	390,000円
視能訓練科	250,000円	950,000円	410,000円
言語聴覚科	100,000円	950,000円	410,000円
トータルビューティーク 1年次	100,000円	800,000円	370,000円
トータルビューティーク 2年次		900,000円	370,000円
美容師科 1年次	100,000円	800,000円	370,000円
美容師科 2年次		900,000円	370,000円
社会福祉科	100,000円	600,000円	350,000円
精神保健福祉科	100,000円	600,000円	350,000円
修学支援（任意記載事項）			
<p>1) 兄弟姉妹学費免除制度：入学者ご本人が滋慶学園グループ校に在籍、もしくは卒業生の場合、初年度の入学金を免除</p> <p>2) 入学者のご家族が在籍・卒業の場合、学費の一部（10万円）が免除</p> <p>3) 既修得単位認定制度：大学・短期大学・専門学校の専門課程において既に履修した授業科目（基礎分野・専門基礎分野）で、本校のカリキュラムと同一授業科目もしくは、授業内容が同一のものである場合、本校の開設されている授業科目の単位数で認定し、認定された単位・科目に対し、授業料を一部免除します。</p> <p>以下、社会福祉科・精神保健福祉科のみ対象</p> <p>4) 実務経験認定免除：入学者本人が相談援助業務の実務経験を1年以上有する場合、実習費（10万円）免除</p> <p>5) 共通科目免除：入学者が社会福祉士の資格を有する場合、共通科目免除のため、授業料（10万円）免除</p>			

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kyoto-iken.ac.jp/school/public_info.html		
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）		
卒業生、保護者代表、近隣関係者、高校関係者ともに、業界関係者により構成される学校関係者評価委員会を組織し、この委員会が、学校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通し、学校運営の改善に活かすことを方針とします。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
(株)千吉商店取締役社長	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	近隣代表

学生保護者	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	保護者代表
京都精華学園中学校・高等学校	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	高校代表
2012年度卒業生	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	卒業生代表
公益社団法人 京都府柔道整復師会	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
公益社団法人 京都府鍼灸師会	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
一般社団法人 京都府理学療法士会	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
一般社団法人京都府言語聴覚士会	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
公益財団法人 京都府スポーツ協会	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
株式会社ノーザンライツ・コーポレーション	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
ベレガ株式会社	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
京滋視能訓練士会	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
一般社団法人 京都府作業療法士会	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
一般社団法人 京都社会福祉士会	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
佛教大学 福祉教育開発センター	令和6年4月1日～ 令和7年3月31日	企業等委員
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kyoto-iken.ac.jp/school/public_info.html		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://www.kyoto-iken.ac.jp/school/public_info.html
--